

## 『事務局通信』第18号

平成30年8月23日発行  
発行者 熊本県里親協議会 会長 岩見照也  
編集責任者 事務局長 宮津美光

協議会事務局では里親同士、里親と児童相談所または里親と地域社会を『つなぐ』をテーマに事務局通信を発行しています。

私たち里親自身が里親のために取材をし、分かりやすく編集してまいります。

### お知らせ1 要保護児童地域対策協議会実務者会議が各地で行われています。

虐待や非行などさまざまな問題を抱えた児童の早期発見と適切な保護を目的として、市町村などの地方公共団体が児童福祉法に基づいて設置された協議会です。児童相談所や学校・教育委員会、警察など、地域の関係機関によって構成されています。養育能力に欠ける親や育児困難が懸念される妊婦などへの支援も行うこととなっています。構成団体の中に里親協議会も参加しています。事例検討などを通じて、それぞれの団体としての見方や関わり方などが再確認される重要な会議だと考えています。私たち里親は要保護児童の成長を支えるのはもちろんですが、地域の中でそのような子どもたちを早期に発見して、関係機関へ通告する義務も負っていると考えます。

### お知らせ2 専門里親更新研修会がありました

専門里親の更新研修がライトハウスでありました。午前中はライトハウスの施設見学、午後からは市児相でのフォスタリングチェンジプログラムの体験学習がありました。ライトハウスの衛生的で明るい環境のもと、入所児童の屈託のない様子も見る事ができて、ホッとしました。また、フォスタリングチェンジプログラムのグループワークでは一人ひとりの意見や体験を大切に共有しながら共に学ぶという合理的で楽しいものでした。

### お知らせ3 全国里親会の河内美舟会長が加藤勝信厚生労働大臣を訪問

8月10日(金)、河内美舟会長は厚生労働省大臣室に加藤勝信厚生労働大臣を訪ね、「新しい社会的養育ビジョンについての見直しに関する要望・提言」を渡しました。主な内容としては、

- ① 里子受託に関わる必要経費について(高校生の通学費の実費支給や給食費、部活経費の加算、入学時の必要経費)
- ② 虐待等による里親処遇の等の改善(里親による虐待問題に対して里親側の意見をよく聞いてほしい)
- ③ 里親の身分保障(虐待の程度等を考えず登録の取り消しをするケースが見られる)
- ④ 里親による養育の不調について原因や背景の検証とそこから得られた知見の共有など。

### お知らせ4 熊本市支部で市児相との交流会議

9/12 熊本市児相と熊本市支部理事との交流会議が計画されています。

里親同士の交流や小さな勉強会で見えてきた様々な課題について話し合われるものと思います。

### お知らせ5 講演会のお知らせ

大牟田地区里親会 「里親講演会」  
「みんながっていい みんないい」  
**小さき命のバトン**  
※主な内容※  
● 里親制度について  
● 里親体験談  
● 質疑応答  
先着100名様 講師：高口 ルース (大牟田地区里親会会長)  
平成30年 9月22日(土) 10時～12時 (受付：9時30分～)  
子どもたちの健やかな成長には、温かい家庭生活を経験する事がとても大切です。しかし、何らかの事情により家庭での生活ができない子どもたちがいます。このような子どもたちを、自分の家庭に迎え入れ養育するのが里親です。「里親ってなあに?」と思っておられる皆様のご来場を心よりお待ちしております。  
会場：エコサクセンター2F AV 研修ホール 〒836-0011 大牟田市健老町 461 番地 TEL:0944-41-2735  
主催 大牟田地区里親会(通称 カメラ会)  
後援 大牟田市  
問合せ 携帯:090-4983-4441(藤木)  
mail:nhk0729@yahoo.co.jp  
ホームページ:https://nhk0729.jimdo.com/

## 「心温まるエピソード」投稿募集

里親家庭では子どもとの新たな出会いから始まる日常生活の中で、さまざまなエピソードがあります。そんな出来事の中から、心温まる出来事を募集します。思い出の絵や作文、写真どのようなものでも結構です。

### 「すべては子ども達の幸せを願って」

尾方秀雄

里親登録をしてやがて14年になります。その間、家庭体験事業の子ども11名と里子として3名の子どもが来てくれました。どの子どもも私たち家族を喜んでくれて、嬉しそうに一緒に生活してくれたと思っていました。

期間養育で来た1人の子どもは2カ月ほど楽しくしていましたが、わがママをいって興奮するようになってきました。どうにか言い聞かせることを試みましたが、エスカレートするようになり、児童相談所にお返しすることにしました。

わたしは、里親登録する時、自分が支えられて生かされてきたことに何か恩返しができるかという思いをもっていました。子どもが好きで、一緒に生活することにも少しは自信を持っていました。しかし、子どもを児童相談所に引き取ってもらうことになったとき、わたしの大人としての身勝手さが見えて強いショックを受けました。

体当たりで来たその子どもに寄り添ってあげる愛情の深さとスキルがなかったのです。こうして欲しいとの思いに忍耐できませんでした。思い返しますと、わたしの家庭に愛情の要求をしていたのではないかと反省しています。

現在10年間共に生活する子どもは、中学2年生です。体格は高校生並です。青春時代に入りかけて人気アイドルの話に夢中です。これから厳しい社会を歩いて行ける人格を造っていく時です。もう少し強くするべきか、子どもの気持ちを優先すべきか悩みます。受験に備える時なのに一向に学業のことは気にならないようです。わたしの同時代を振り替えますと、同じような自分が映し出されて強く言えない自分がいます。

近ごろ、自分の生き立ちについて敏感になっています。里子であることは小さい時から伝えていましたので、自覚はしておりますが、血のつながった父親、母親がどうして自分を育ててくれなかったのか、今どんな生活をしているのか、どんな姿なのか知りたがっています。彼の心の中で親族は、彼の同じ性である歴史上の人物としてイメージしています。ルートが見えないことが世の中でただ浮いているように感じているのではと心が痛みます。

昨年、彼は私たちが行っているキリスト教会で洗礼を受けました。キリストを通して私たちは兄弟であることを知っています。

私たちは、キリストによって結ばれた家族だと。また、自分を生んでくれた親を感謝できるように伝えていきたいです。



### 「里親カフェ」毎月第一水曜日

協議会事務所は、気軽に立ち寄っていただけるような場所になればいいと考えて、月イチで里親カフェをオープンしています。予約不要。時間が空いたらどうぞお立ち寄りください。お子さん同伴歓迎（綿あめ作り、ポップコーン作り、アイスクリーム作り体験は無料）

飲み物（コーヒー、紅茶、その他）100円  
9月5日（第一水曜日）13:30～16:00  
事務所 熊本市東区戸島町 1177-3

### すべては子どもたちの幸せを願って！

里親協議会の活動を支援します

温かいご支援ありがとうございます

〈支援企業・支援団体〉年間5万円(1口)  
〇ふるさと元気ドレッシング工場

〈熊本県里親協議会 事務局〉

事務局長 宮津美光

事務所 861-8031 熊本市東区戸島町 1177-3

電話(Fax 同番) 096-380-4666

携帯 080-5250-4666

Eメール pygkb624@yahoo.co.jp

